

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 1 区分

【発行日】平成 18 年 8 月 3 日 (2006.8.3)

【公表番号】特表 2002-518170 (P2002-518170A)

【公表日】平成 14 年 6 月 25 日 (2002.6.25)

【出願番号】特願 2000-555693 (P2000-555693)

【国際特許分類】

B 0 1 F 17/00 (2006.01)

A 6 1 K 8/06 (2006.01)

A 6 1 K 8/30 (2006.01)

A 6 1 K 8/00 (2006.01)

A 6 1 Q 19/00 (2006.01)

【F I】

B 0 1 F 17/00

A 6 1 K 7/00 N

A 6 1 K 7/00 C

A 6 1 K 7/48

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 6 月 14 日 (2006.6.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

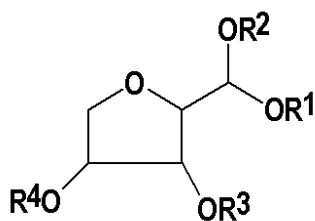
【特許請求の範囲】

【請求項 1】 (a) ポリオールポリ - 1 2 - ポリヒドロキシステアレート、
(b) ソルビタンエステル、オリゴグリセロールエステルおよび部分グリセリドから成る群から選択するポリオールエステル、
(c) クエン酸エステル、
(d) ワックス、および
(e) 金属石鹸
含有する w / o エマルジョン基剤。

【請求項 2】 成分 (a) として、ポリグリセロールポリ - 1 2 - ヒドロキシステアレートを含む請求項 1 に記載の剤。

【請求項 3】 成分 (b) として、式 (I) :

【化 1】



(I)

[式中、 R^1 、 R^2 、 R^3 および R^4 はそれぞれ、水素、または炭素数 6 ~ 22 の飽和および / または不飽和の直鎖または分枝状アシル基であり、置換基 $R^1 \sim R^4$ の少なくとも 1 個はアシル基である。]

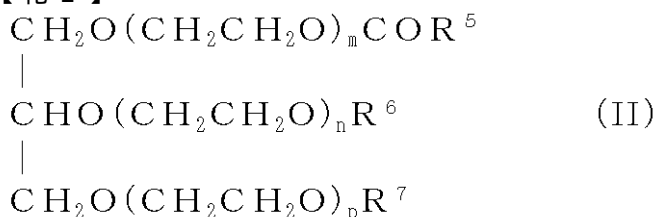
で示されるソルビタンエステルを含む請求項 1 または 2 に記載の剤。

【請求項 4】 成分 (b) として、 C_{6-22} 脂肪酸のオリゴグリセロールエステル

を含有する請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載の剤。

【請求項 5】 成分 (b) として、式 (II) :

【化 2】

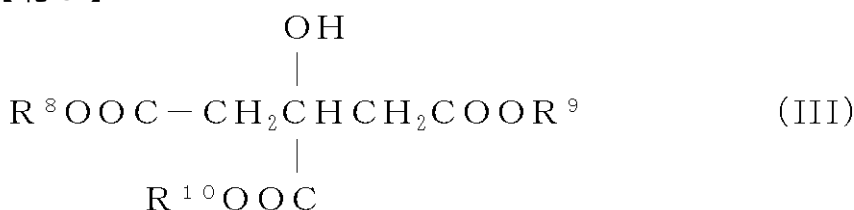


[式中、 R^5CO は、炭素数 6 ~ 22 の、直鎖または分枝状、飽和および / または不飽和アシル基であり、 R^6 および R^7 はそれぞれ、 R^5CO と同意義であるか、または OH であり、 $(m + n + p)$ の総数は 0、または 1 ~ 100 であり、2 個の置換基 R^6 および R^7 の少なくとも一方は OH である。]

で示される部分グリセリドを含有する請求項 1 ~ 4 のいずれかに記載の剤。

【請求項 6】 成分 (c) として、式 (III) :

【化 3】



[式中、 R^8 、 R^9 および R^{10} は水素、または直鎖または分枝状アルキルおよび / またはアルケニル基、および / または炭素数 2 ~ 12 / ヒドロキシ基数 2 ~ 12 のポリオール残基であり、置換基 $\text{R}^8 \sim \text{R}^{10}$ の少なくとも 1 個は水素でない。]

で示されるクエン酸エステルを含有する請求項 1 ~ 5 のいずれかに記載の剤。

【請求項 7】 成分 (d) として、蜜蝋、ラノリンおよび / またはモンタン蝋を含有する請求項 1 ~ 6 のいずれかに記載の剤。

【請求項 8】 (a) ポリオールポリ - 12 - ヒドロキシステアレート 5 ~ 95 重量 %、

(b) ソルビタンエステル、オリゴグリセロールエステルおよび / または部分グリセリド 2 ~ 35 重量 %、

(c) クエン酸エステル 1 ~ 40 重量 %、

(d) ワックス 1 ~ 25 重量 %、および

(e) 金属石鹸 0.5 ~ 25 重量 %、

を、場合により水並びに他の助剤および添加剤と共に、全量 100 重量 % となるように含有する請求項 1 ~ 7 のいずれかに記載の剤。